



さいたま市議会 9月定例会報告

市長提出議案44件、委員会提出議案1件、 議員提出議案1件の計46議案が議決

今定例会では、所属する保健福祉委員会で

- (1) 障害のある方のお出かけ応援（タクシーチケットの利用）について
- (2) HPVワクチンのキャッチアップについて
- (3) こども誰でも通園制度について

議案外質問を行いました。予算委員会、決算特別委員会でも質疑を行いました。
最終日には賛成討論を行いました。



「(仮称)さいたま市放課後居場所事業」 モデル事業の実施が決定!



さいたま市放課後児童クラブは待機児童の解消と施設運営に携わる保護者負担軽減が喫緊の課題となっています。公明党さいたま市議団は先進都市の事例の調査を重ねながら、議会提案を繰り返し行ってまいりました。

来年度より、利用を希望する全ての児童を対象に、最も身近な小学校の施設を活用し、安心・安全な放課後の居場所を提供することを目的として、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体型事業である「(仮称)さいたま市放課後子ども居場所事業」のモデル事業が市内4校でスタートいたします。

	(仮称)さいたま市放課後子ども居場所事業	【参考】チャレンジスクール部分
目的	希望するすべての児童へ居場所を提供 ※ 17時以降は保護者の就労要件が必要	地域と学校が連携・協働して児童の自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の多様な活動を実施
事業形態	放課後児童健全育成事業 + 放課後子ども教室	放課後子ども教室 (チャレンジスクール推進事業)
活動内容	放課後児童支援員のもと、宿題、室内での遊び、 校庭や体育館などでの運動 平日 放課後～19時まで 土曜・夏休み等 8時～19時まで ※ 17時までは小学校に在籍するすべての児童が利用可能(就労要件なし) ※ おやつ(月額2,000円程度)は、17時以降も利用する児童のみ提供	原則、現在の地域ボランティアによる 放課後チャレンジスクールを従前 とおり実施
保護者負担	公設放課後児童クラブ(月額8,000円)をベースに利用時間帯に応じて設定 ※ チャレンジスクールのみ利用は無料(材料費等の実費負担あり) ※ 低所得者には減免制度を設ける	

「令和6年度予算編成並びに施策に対する要望書」を 清水 勇人市長に提出

9月27日、清水勇人さいたま市長に「令和6年度予算編成並びに施策に対する要望書」を提出

気候変動に伴う災害の頻発化、中東情勢の悪化、そして燃料、食品をはじめとする物価高騰など、私たちを取り巻く経済・社会情勢は大きく変化しております。

公明党さいたま市議会議員団は、日頃より皆様から寄せられた切実な声諸団体からの要望をカタチにするため、会派内での討議を積み重ね、135項目の具体的施策として取り纏め提出しました。



『紙おむつのサブスク』実証実験開始！

6月の保健福祉委員会で議案外質問をした『紙おむつのサブスク導入』
11月より市内保育園4か所で実証実験が始まりました。

事業者から保育園におむつが届く仕組みで、定額でおむつが使い放題になります。
保護者は、おむつに名前を記入し持参していましたが、その必要がなくなり、
保護者、保育士双方の負担軽減が期待されます。(実証実験：11月1日～12月28日)

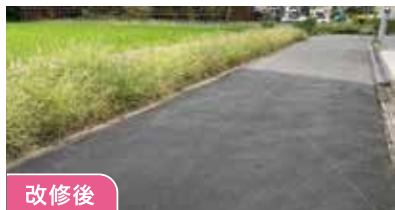


皆様の声がかたちになりました！

塚本 道路修繕



改修前



改修後

暗くなると凹凸が見えなくて危ないとお声に綺麗に舗装していただきました。

町谷4丁目 側溝の蓋の修繕



改修前



改修後

側溝の蓋が劣化し、騒音、振動、危険とお声に修繕していただきました

西堀9丁目 樹木剪定



改修前



改修後

見通しよくスッキリしていただきました。

